

# 平成 26 年度 日本心臓財団事業計画

## I. 個人研究に対する助成事業

### 1. 第 40 回日本心臓財団研究奨励

奨励金額：1 件 200 万円を 10 件  
応募資格：1974 年 4 月 1 日以降に生まれた者  
応募受付：平成 26 年 9 月 1 日～10 月 15 日  
決定通知：平成 27 年 3 月

### 2. 第 5 回日本心臓財団入澤宏・彩記念研究奨励

奨励金額：1 件 100 万円を 3 件  
応募資格：基礎研究室に所属の 1974 年 4 月 1 日以降に生まれた者  
応募受付：平成 26 年 9 月 1 日～10 月 15 日  
決定通知：平成 27 年 3 月

### 3. 第 5 回日本心臓財団入澤宏・彩記念女性研究奨励

奨励金額：100 万円を 1 件  
応募資格：女性で 1974 年 4 月 1 日以降に生まれた者  
応募受付：平成 26 年 9 月 1 日～10 月 15 日  
決定通知：平成 27 年 3 月

### 4. 第 2 回日本心臓財団拡張型心筋症治療開発研究助成（ほのかちゃん基金）

助成金額：1 件 200 万円を 2 件  
応募受付：平成 26 年 9 月 1 日～10 月 15 日  
決定通知：平成 27 年 3 月

### 5. 第 12 回日本心臓財団・アステラス・ファイザー動脈硬化 *Update* 研究助成

助成金額：200 万円を 1 件・100 万円を 2 件・30 万円を 2 件  
応募資格：原則として日本国内の臨床教室およびそれに準ずる施設に所属の 1974 年 4 月 1 日以降に生まれた者  
応募締切：平成 26 年 5 月 10 日  
決定通知：平成 26 年 9 月

### 6. 第 10 回日本心臓財団・ノバルティス循環器分子細胞研究助成

助成金額：1 件 100 万円を 10 件  
応募資格：原則として臨床系教室およびそれに準ずる施設に所属の応募時 40 歳未満の者  
応募受付：平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 1 月 31 日  
決定通知：平成 26 年 4 月

### 7. 第 3 回日本心臓財団・日本循環器病予防学会・アストラゼネカ臨床疫学研究助成

助成金額：1 件最大 500 万円で数件 総額 1,500 万円  
応募資格：医師・保健師・看護師・管理栄養士・栄養士・薬剤師等医療関係に携わる 40 歳未満の者  
応募受付：平成 25 年 12 月 1 日～平成 26 年 1 月 10 日  
決定通知：平成 26 年 4 月

## II. 研究者の留学費用に対する助成事業

1. 第 28 回日本心臓財団・バイエル薬品海外留学助成  
循環器疾患の研究に携わるわが国の研究者が海外の研究機関に留学するため助成  
助成金額：1 件 300 万円を標準とし、原則として 10 件  
応募資格：1975 年 4 月 1 日以降に生まれた者  
応募受付：平成 26 年 10 月 1 日～11 月 30 日  
決定通知：平成 27 年 3 月
2. 東京海上日動火災保険(株)による海外研究者研修助成  
ASEAN 諸国等の循環器の研究者に対する助成  
助成金額：1 件最大 80 万円で総額 100 万円
3. 第 8 回日本心臓財団 Cardiac Rhythm Management 短期海外研修助成  
不整脈および心不全等の植込み型デバイス療法に焦点をあてた Cardiac Rhythm Management の治療に携わる医療関係者に対する短期海外研修助成  
助成内容：欧州の研修先までの渡航費および滞在費  
助成件数：6 件  
研修先：イタリア  
応募資格：1969 年 4 月 2 日以降、1979 年 4 月 1 日以前に生まれた者  
応募締切：平成 26 年 3 月 31 日  
決定通知：平成 26 年 5 月

## III. 学会および研究会に対する助成事業

1. 公募助成
  - 1) PCI Technical Education Course  
平成 26 年 4 月 26 日～27 日 神奈川・テルモメディカルプラネックス  
平成 26 年 11 月 8 日～9 日 兵庫・神戸医療機器開発センター  
世話人 村松俊哉（済生会横浜市東部病院循環器科部長）
  - 2) TOPIC 2014  
平成 26 年 7 月 10 日～12 日 東京・セルリアンタワー東急ホテル  
世話人 村松俊哉（済生会横浜市東部病院循環器科部長）
  - 3) その他
2. 指定助成・共催
  - 1) 第 36 回美甘レクチャー(日本循環器学会特別招聘講演)  
平成 27 年 4 月 25 日、第 79 回日本循環器学会学術集会（会長：小川久雄熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学教授）にて
  - 2) 第 28 回日本循環器病予防セミナー  
平成 26 年 7 月 30 日～8 月 3 日 ラフォーレ琵琶湖  
実行委員長 三浦克之（滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門教授）

#### IV. 共同臨床研究等に対する助成事業

##### 1. 虚血性心疾患に関する研究

- 1) Kumamoto Intervention Conference Study (KICS)  
代表 小川久雄 (小川久雄熊本大学大学院生命科学研究部循環器内科学教授)
- 2) 冠攣縮性狭心症患者に関する後ろ向き全国調査 (冠攣縮研究会)  
幹事 下川宏明 (東北大学大学院医学系研究科循環器病態学教授)
- 3) 職域コホートによる動脈硬化性疾患の原因解明と予防に関する研究 (OCCUPATION)  
代表 北風政史 (国立循環器病研究センター心臓血管内科部門部長)
- 4) IB-IVUS 研究  
代表 藤原久義 (兵庫県立尼崎病院院長)
- 5) 動脈硬化性疾患早期発見のための核医学的診断技術の確立とそれらの標準化  
代表 福島和人 (国立循環器病研究センター放射線診療部)
- 6) 腎機能障害を伴う患者を対象としたリーナルガードによる造影剤腎症防止方法  
代表 道下一朗 (国家公務員共済組合連合会横浜栄共済病院循環器内科部長)

##### 2. 虚血性心疾患と脂質低下療法に関する研究

- 1) 脂質異常症患者に対する Pitavastatin および EPA を用いた MDCT による冠動脈石灰化指標変化に関する多施設共同試験 (PEACH trial)  
代表 伊藤浩 (岡山大学大学院医歯薬学総合研究科循環器内科学教授)
- 2) Randomized trial for Evaluation in Secondary Prevention Efficacy of Combination Therapy- Stain and Eicosapentaenoic Acid (RESPECT-EPA)  
代表 代田浩之 (順天堂大学医学部循環器内科教授)
- 3) 高 LDL コレステロール血症を有するハイリスク高齢患者 (75 歳以上) に対するエゼチミブの脳心血管イベント発症抑制効果に関する多施設共同無作為化比較試験 (EWTOPIA75)  
代表 大内尉義 (国家公務員共済組合連合会虎の門病院院長)

##### 3. 突然死に関する研究

- 1) ウツタイン様式を用いた関東地方院外心停止患者に対する多施設共同研究 (SOS-KANTO)  
代表 長尾 建 (駿河台日本大学病院教授)

##### 4. 心房細動に関する研究

- 1) 心房細動例における心原性塞栓症予防のためのワルファリンならびに新規抗凝固薬使用の実態に関する多施設共同観察研究 (J-RHYTHM Registry 2)  
代表 井上 博 (富山大学大学院内科学第二講座教授)
- 2) オフポンプ冠状動脈バイパス術周術期におけるランジオロール塩酸塩の心房細動発生抑制に関する臨床試験 (JL-KNIGHT study II)  
代表 坂本篤裕 (日本医科大学大学院疼痛制御麻酔科学教授)

5. 慢性心不全に関する研究

- 1) 費用対効果からみた拡張期心不全の治療戦略の検討  
代表 堀 正二 (大阪府立成人病センター総長)
- 2) 慢性心不全患者に対する薬物治療に関する実態調査  
代表 筒井裕之 (北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授)
- 3) 慢性心不全治療において利尿薬が左室拡張能に及ぼす影響の検討  
代表 増山 理 (兵庫医科大学内科学循環器内科教授)
- 4) 拡張機能低下型心不全に対するニフェジピン CR の有効性の検討 (DEMAND)  
代表 筒井裕之 (北海道大学大学院医学研究科循環病態内科学教授)
- 5) 難治性の心不全患者に対するトルバプタン継続投与の QOL に対する有用性を検討する探索的ランダム化、非盲検、平行群間比較試験 (AQUA-TLV)  
代表 絹川弘一郎 (東京大学大学院医学系研究科重症心不全開発講座特任准教授)
- 6) 心不全及び肥満者における心筋代謝  
代表 泰江弘文 (熊本加齢医学研究所所長)
- 7) 高尿酸血症を合併した慢性心不全患者に対するフェブキシostatとアロプリノールの無作為化比較試験  
代表 鈴木 聡 (福島県立医科大学循環器・血液内科学)

6. 急性心不全に関する研究

- 1) ATTEND Registry  
代表 高野照夫 (日本医科大学常任理事)

7. 弁膜症に関する研究

- 1) 日本人における石灰化大動脈弁膜疾患の発症・進展予防に関する研究 (JASS)  
代表 山本一博 (鳥取大学医学部病態情報内科学教授)

8. 高血圧に関する研究

- 1) 本態性高血圧患者における潜在性心筋障害の検出  
代表 藤原久義 (兵庫県立尼崎病院院長)
- 2) Eplerenone and Aliskiren Research Targeting at Hypertensive patients with left ventricular hypertrophy (EARTH) study  
代表 室原豊明 (名古屋大学大学院医学系研究科病態内科学教授)

9. 肺高血圧に関する研究

10. 糖尿病と心血管病に関する研究
  - 1) インスリン抵抗性改善による心筋梗塞再発予防に関する大規模薬剤介入試験 (PPAR Study)  
代表 北風政史 (国立循環器病研究センター心臓血管内科部門部長)
  - 2) 2型糖尿病患者におけるアスピリンの動脈硬化性疾患一次予防に関する研究 2 (JPAD 2)  
代表 斎藤能彦 (奈良県立医科大学第一内科学教授)
  - 3) 日本人糖尿病合併冠動脈疾患患者において積極的脂質低下・降圧療法の妥当性を問うランダム化臨床試験および観察研究  
代表 植田真一郎 (琉球大学大学院臨床薬理学教授)
  - 4) 2型糖尿病による左室拡張能低下に対するテネグリプチンの予防・抑制効果に関する臨床試験 (TOPLEVEL)  
代表 北風政史 (国立循環器病研究センター心臓血管内科部門部長)
11. 睡眠呼吸障害と心血管病に関する研究
12. 血栓症・塞栓症に関する研究
  - 1) 肺血栓塞栓症／深部静脈血栓症 (静脈血栓塞栓症) 予防ガイドライン作成のためのエビデンス収集および解析に関する研究  
代表 中村真潮 (三重大学大学院医学系研究科循環器内科学講師)
13. 心臓外科治療に関する研究
  - 1) 日本心臓血管外科手術データベース (JCVSD)  
代表 高本真一 (三井記念病院院長)
14. その他

## V. 指定研究等の実施・助成事業

1. 生活習慣病改善プログラム  
インターネット上で蓄積されたデータを解析し疫学研究として発表後、医師・医療従事者を対象とした医師と患者の生活習慣病治療コミュニケーションツールソフト無料配布。
2. 予防医学のための携帯型心電計普及活動  
本テーマに関する指定研究助成の継続 (5年目)

## VI. 個人または団体に対する褒賞事業

1. 第39回日本心臓財団佐藤賞  
平成27年4月25日、第79回日本循環器学会学術集会 (会長：小川久雄熊本大学教授) にて贈呈
2. 第39回日本心臓財団草野賞  
平成27年3月、第40回日本脳卒中学会総会 (会長：松本昌泰広島大学教授) にて贈呈

3. 第 29 回日本心臓財団予防賞  
平成 26 年 7 月 20 日、第 50 回日本循環器病予防学会総会（会長：山科章東京医科大学教授）にて贈呈
4. 第 9 回日本心臓財団小林太刀夫賞  
平成 26 年 7 月 20 日、第 50 回日本循環器病予防学会総会（会長：山科章東京医科大学教授）にて贈呈
5. 第 18 回日本心電学会学術奨励賞  
平成 26 年 7 月 22 日、第 31 回日本心電学会学術集会（会長：新博次日本医科大学多摩永山病院教授）にて贈呈

## VII. 広報啓発事業

1. インターネット「心臓財団のホームページ」関連啓発活動
  - 1) 一般向けにはセカンドオピニオンによる相談をはじめ心臓血管病に関する正しい知識の普及、講演会・健康イベントの案内を、医師・研究者向けには循環器最新情報、研究助成の募集案内等医学関連情報を提供。  
ホームページアドレスは、<http://www.jhf.or.jp/>
  - 2) 動脈硬化予防（研究・行動）啓発センターとの共同による「動脈硬化予防啓発ウェブサイト」の作成。（添付資料参照）
2. 日本循環器学会・日本循環器病予防学会との協力事業  
市民公開講座の開催（共催：日本循環器学会・日本循環器病予防学会）
3. 予防啓発小冊子の発行
4. 「ハートの日」活動
  - 1) 健康ハートの日
    - ・東京にて血圧、動脈硬化度、体脂肪等の測定と健康相談
    - ・豊橋・名古屋・岐阜  
講演会、血圧・体脂肪の測定、血液・心電図検査、心臓病・歯周病・食事・栄養相談、運動指導、救急蘇生法の講習
  - 2) ポスターの製作配布等
5. 禁煙推進活動  
禁煙推進学術ネットワークを中心に活動
6. AED・心肺蘇生普及活動  
AED および胸骨圧迫のみの心肺蘇生法の普及啓発活動
7. 日本心臓財団メディアワークショップの開催  
メディアに心臓血管病に関する最新的话题を提供し、そのメディアから一般市民に対して正しい情報を伝えてもらう
8. 患者団体・予防活動団体への協力  
日本心臓ペースメーカー友の会、全国心臓病の子どもを守る会、川崎病の子供をもつ親の会等事業への協力

9. 日本川崎病研究センター事業への協力
10. トーアエイヨー㈱によるラジオ NIKKEI「心臓財団虚血性心疾患セミナー」  
細田瑛一顧問を企画委員長に企画委員会を組織
11. 月刊誌「心臓」の発行（日本循環器学会との共同発行）  
山口徹常任理事を編集委員長に編集委員会を組織  
投稿論文を中心に発行  
\*平成26年度より編集制作会社変更（添付資料参照）
12. 機関紙の発行  
心臓財団季報として年4回発行
13. その他の啓発活動